

革新的新薬創出を活性化・加速化し、 世界中の人々の健康ならびに医療の向上に貢献します。



日本製薬工業協会(以下、製薬協)は、革新的で有用性の高い医薬品の開発と製薬産業の健全な発展を通じて、日本および世界の人々の健康と医療の向上に貢献することを旨とする研究開発志向型製薬企業(73社*)より成る団体です。

製薬産業をとりまく環境は、少子高齢化、医薬品市場のグローバル化、再生医療等の新規産業の進展、薬価制度・税制に関わる様々な政策導入、TPP参画等の社会的要因や政治的要因等、日々目まぐるしく変わっています。しかし、このような変化の激しい環境にあっても、私たちに課せられた生命関連産業としての使命は揺るぎなく、今後も変わることはありません。

このような中、製薬協および製薬協会員会社が目指すべき姿として「製薬協 産業ビジョン2025」を作成しました。私たちは個別化・予測・予防のための先進創薬を追究することで創薬イノベーションを実現し、その成果を日本をはじめとした世界中の患者さんとその家族、生活者に届けていきます。これらの実現の結果として製薬産業が日本経済をリードし、高付加価値産業としてプレゼンスを高めると同時に、日本が目指していく健康先進国の実現を支援していきたいと考えます。

私たちはこのビジョンの実現に向けて、イノベーションが適切に評価される仕組みづくり、知的財産権による適

切な新薬の保護、研究開発の環境整備に対して提言を行ってまいります。同時に、ステークホルダーの方々との対話を重ねることで、医薬品へのアクセスと持続可能な保健医療制度との両立を実現したいと考えています。

※2016年4月1日現在



日本製薬工業協会 会長

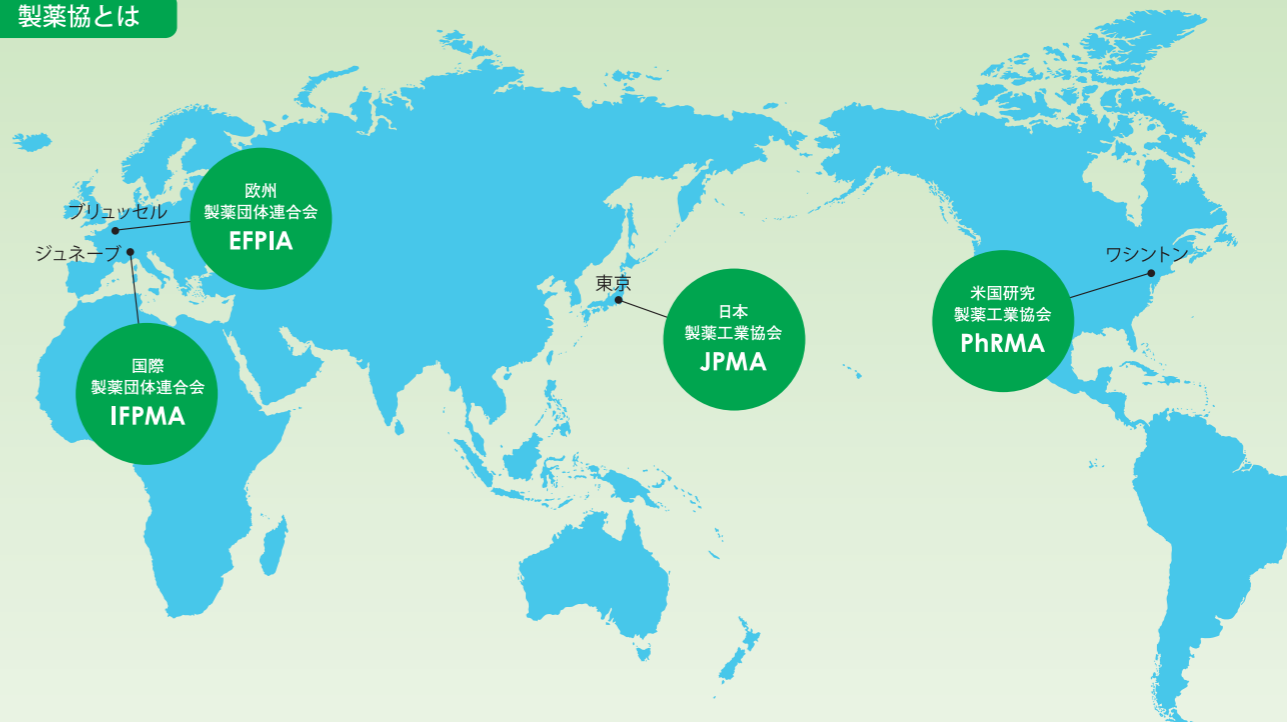
畑中好彦

畑中 好彦 (はたなか よしひこ)

アステラス製薬株式会社 代表取締役社長(CEO)

1980年	1980年一橋大学経済学部卒業後、藤沢薬品工業㈱入社
2005年	アステラス製薬㈱執行役員経営企画部長
2006年	Astellas US LLC President & CEO兼 Astellas Pharma US, Inc. President & CEO
2009年	上席執行役員経営戦略・財務担当
2011年	代表取締役社長

製薬協とは



製薬協は、研究開発志向型の製薬企業73社(2016年4月1日現在)が加盟する任意団体です。

1968年に設立された製薬協は、「患者参加型医療の実現」をモットーとして、医療用医薬品を対象とした画期的な新薬の開発を通じて、世界の医療に貢献してきました。

製薬協では、製薬産業に共通する諸問題の解決や医薬品に対する理解を深めるための活動、国際的な連携など多面的な事業を展開しています。また、特に政策策定と提言活動の強化、国際化への対応、広報体制の強化を通じて、製薬産業の健全な発展に取り組んでいます。

併せて、製薬協(英文略名:JPMA)は、米国研究製薬工業協会(PhRMA)や欧州製薬団体連合会(EFPIA)などとともに、世界の医薬品市場における主要な製薬団体として活動を展開し、医薬品規制の国際的な調和を目指す医薬品規制調和国際会議(ICH)の創始常任委員として活動中です。

さらに製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟協会として、地球規模で蔓延する疾患対策や発展途上国などにおける伝染病対策、医薬品アクセス問題と知的財産権、さらには「ニセ薬」の問題など世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応しています。

各加盟団体と相互に情報交換と連携を図りながら、世界の患者さんの治療に貢献するためにグローバルな活動を展開しています。

JPMA : Japan Pharmaceutical Manufacturers Association
 PhRMA : Pharmaceutical Research and Manufacturers of America
 EFPIA : European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations
 ICH : International Council for Harmonisation of Technical Requirements for Pharmaceuticals for Human Use
 IFPMA : International Federation of Pharmaceutical Manufacturers & Associations

